

## 決算特別委員会産業建設分科会

R 2. 9. 16 (水) 午前 10 時 30 分

9. 17 (木) 午前 10 時 00 分

9. 18 (金) 午前 10 時 00 分

9. 24 (木) 午前 10 時 00 分

場所：第 2 委員会室

事務事業評価：全員協議会室

### 1 開 議

### 2 事務局日程説明

### 3 付託議案審査（説明～質疑）

（審査日程：別紙）

※事務事業評価対象事業を除く。

- (1) 第 6 号議案 令和元年度亀岡市一般会計決算認定（所管分）
- (2) 第 11 号議案 令和元年度亀岡市土地取得事業特別会計決算認定
- (3) 第 13 号議案 令和元年度亀岡市水道事業会計決算認定
- (4) 第 14 号議案 令和元年度亀岡市下水道事業会計決算認定
- (5) 第 48 号議案 令和元年度亀岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- (6) 第 49 号議案 令和元年度亀岡市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

### 4 事務事業評価

- (1) 農業担い手づくり育成事業経費
- (2) 商工業振興対策経費  
（かめおか元気企業支援事業補助経費、かめおか元気商店街等支援事業経費）
- (3) 観光推進経費  
（亀岡市観光協会運営費補助経費、亀岡市観光協会宣伝事業等補助経費）

### 5 討論～分科会採決

### 6 委員長報告の確認

### 7 その他



令和元年度決算事務事業評価資料(R2.9審査)

別紙No. 4

一般会計					担当課	農林振興課
款	農林水産業費	項	農業費	目	担い手育成総合支援対策費	
対象事務事業名	農業担い手づくり育成事業経費				主要施策報告書	160ページ
目的	事業の目的は何か	農業の担い手づくりを進めることにより、農業の持続的な発展を目指す。 ・個人の農業者や集落営農組織等担い手の農業経営改善等を支援 ・新規就農者等新たな担い手の育成				
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金支給 <input type="checkbox"/> その他( )				
	目的達成のために行った活動とその実績は何か	・農業次世代人材投資資金等の交付 ・集落営農育成強化助成金の交付 ・担い手専任マネージャーの設置				
成果	目的に対する成果は何か	・就農直後の新規就農者の就農意欲の喚起を促すことによる経営の安定と就農後の定着 ・集落における今後の農業についての話し合いや集落営農組織立ち上げ等を推進 ・新規就農者等集落の担い手を巡回し、相談業務及び技術指導				
コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明		
		農業次世代人材投資事業に係る経費	43,250,000	32名・42,750,000円 事務費 500,000円		
		集落営農育成強化助成事業に係る経費	4,201,100	18組織・4,201,100円		
		担い手専任マネージャー報酬	2,070,000	172,500円×12カ月		
		その他補助金等	2,908,828	就農研修資金償還金助成 960,000円 ほか		
	計		52,429,928			
	事業に携わった職員数は	1.55人 × @7,128,000=	11,045,300	※		
				合計	63,475,228	
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明		
		府支出金	43,974,414	農業次世代人材投資事業 43,250,000円(事務費含む・10/10)等		
		国庫支出金	375,000	地方創生推進交付金(1/2)		
		計	44,349,414			
課題方向性	今後の課題は何か	農業の就業人口は減少傾向で、かつ、高齢化も進んでいる。新規就農者の育成や、集落営農組織の立ち上げ・強化等、それぞれの集落の実情に合った対策を講じていく必要がある。				
	今後の方向性はどうか	農業集落の今後の姿を描くには集落内農業者の話し合いが必要不可欠であるため、そういった話し合い等を支援・推進するとともに、既存の担い手や新規就農者の経営が安定し集落に定着できるよう資金面・技術面での支援を行う。				

※職員の平均人件費を参考数値として示している